

関係者各位

アフリカ連合日本政府代表部
経済・開発協力班

当代表部では、アフリカ各国に関連するビジネス・ニュースに加え、民間セクター及び関係機関に有益と思われるトピックをまとめたアフリカ経済月報を配信しております。ビジネス・トレンド、経済動向、投資環境や法規制など、アフリカでビジネスを展開中、または進出を検討している方々のお役に立てればと思っております。また、当代表部ではウェブサイトに加えて、以下のX（旧 twitter）のアカウントでも情報を発信しておりますので、フォロー及び拡散いただけますと幸いです。

エボラ出血熱の感染状況に関して、ウガンダでは同国政府により、7月28日に終息宣言が発出されましたが、一方でコンゴ民主共和国では感染者は WHO の報告によれば、7月30日時点で3,605人に増え、過去最悪の流行となっています。その内1,587人が死亡し、致死率は44%となっています。現在、WHO は各国政府と協力の下、対策を進めており、各国からの支援チーム派遣や医療物資の現地への提供を行っております。

当代表部ウェブサイト: https://www.au-mission.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html同 Xアカウント: https://x.com/mission_japan

配信内容へのご意見或いは新規登録希望の方は以下のアドレスに
組織名、氏名、役職をご記入の上お願いします。

keizaikaihatsu@ua.mofa.go.jp

■東部アフリカ

(1)【エチオピア】アフリカ開発銀行、300MW 規模の風力発電に、1.1億米ドルの融資承認

アフリカ開発銀行(AfDB)グループは、エチオピアの300MW規模の「アイシャ(Aysha)」風力発電プロジェクトに対し、最大1.1億米ドルの融資パッケージを承認。同プロジェクトは、東アフリカ地域で最大規模の風力発電所となる見込みであると、同銀行は発表した。

<https://renewablesnow.com/news/afdb-approves-usd-110m-financing-for-ethiopias-300-mw-wind-project-1298293/>

(2)【エチオピア】アフリカ第5位の通信大手が、モバイルマネーブームで5億米ドルの利益増

エチオピア国営通信大手エチオ・テレコムは、加入者の急増、デジタルサービスの拡充、およびモバイルマネープラットフォーム「テレブル」の持続的な成功により、2025年会計年度において5億米ドルにも及ぶ大幅な利益増を記録したと発表した。売上高は約13.5億米ドルに増加し、加入者数とデジタルサービスの成長に後押しされて33.2%の伸びを記録。総加入者数は約9千万人に達し、ネットワークおよびデジタルインフラへの継続的な投資の結果が反映された。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/africas-5th-largest-telecom-just-turned-a-mobile-money-boom-into-half-a-billion/j0bn1ww>

(3)【ケニア】インド大手ボトラー、乳製品取引でケニア市場に参入

インド最大手のボトラー且つペプシ関連のディストリビューターであるヴァルン・ビバレッジ社の完全子会社 VBL インダストリーズ(ケニア)は、デヴィヤニ・フード・インダストリーズ(ケニア)の付加価値乳製品、ジュース、およびパッケージ飲料水事業を買収することで合意。買収価格は3.2千万米ドルで、その中心となるのは、ナイロビの北西に位置し急成長中の都市ナクルにある製造工場となる。約21ヘクタールの敷地に、延べ床面積約1.7万平方メートルの建物が建っている。尚、8月1日までに買収完了を見込んでいる。

<https://www.riotimesonline.com/varun-beverages-kenya-deal-2026/>

(4)【ケニア】ダンゴテ社による製油所建設地としてケニアのラムを選定

ダンゴテ・ケニアの製油所の建設地が同国北東部のラムで決定した。1日70万バレルの処理能力を持ち、総工費最大170億米ドルを投じて建設する予定。同グループにとって、本プロジェクトは本国ナイジェリアに続く、第二号案件となる。現在、ラムでは土壌調査が進められており、設計およびエンジニアリング作業も開始されている。

<https://www.riotimesonline.com/dangote-kenya-refinery-lamu-2026/>

■西部アフリカ

(5)【カメルーン】ダンゴテ、カメルーンに燃料貯蔵ターミナル建設を提案

ナイジェリアのダンゴテ・グループは、ナイジェリアに建設された1日あたり65万バレルの処理能力を持つレッキ製油所の地域流通ネットワークを強化するため、カメルーンに石油製品貯蔵ターミナルの建設を提案した。この提案は、同グループの石油・ガス・肥料担当副社長であるデヴァクマール・エドウィン氏により、カメルーンのジョセフ・ディオン・ングテ首相に提示された。

<https://punchng.com/dangote-plans-fuel-storage-terminal-in-cameroon/>

(6)【ガボン】フランスの鉱業大手に対しEV用バッテリーのサプライチェーンへの参入要請

世界的な重要鉱物争奪戦が激化する中、アフリカ第2位のマンガン生産国であるガボンでは、鉱物原料の輸出にとどまらない事業展開を加速させており、フランスの鉱業大手エラメット社に対し、現地での加工事業への投資を要請している。同国とエラメット社は、年間最大70万トンのマンガン加工のプロジェクトを検討中。この動きは、同国が2029年に予定しているマンガン原鉱の輸出禁止に先立って行われるものである。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/africas-second-largest-manganese-producer-pushes-french-mining-giant-deeper-into-ev/2mtdz9l>

(7)【ナイジェリア】エクソンモービル、10億米ドル規模のウサン・プロジェクトを開始

エクソンモービルの関連会社であるエッソ・エクスプロレーション・アンド・プロダクション・ナイジェリア(オフショア・イースト)リミテッドは、石油探掘リースにおける10億米ドル規模のウサン・インフィル・プロジェクトの鉱区探索活動を開始。この開発により、ナイジェリアの原油生産量は1日あたり最大4万バレル増加すると見込まれている。同社によると、このプロジェクトは、パートナー各社による累計投資額が約10億米ドルに上るものであり、ナイジェリアの深海石油開発の可能性を探るものと位置付けている。

<https://punchng.com/exxonmobil-begins-1bn-usan-project/>

■南部アフリカ

(8)【南ア】ステランティス、中国製自動車ブームにより、南ア工場建設計画を見直し

世界最大級の自動車メーカーの一つであるステランティスは、低価格な中国製車両の波がアフリカ最大の自動車市場における競争構造を一変させていることを受け、南アフリカでの初の製造工場建設計画を一時停止した。これは、中国の影響力の高まりが、世界の自動車メーカーに投資戦略の見直しを迫っている実情を浮き彫りにしている。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/chinas-car-boom-forces-stellantis-to-rethink-south-african-factory-plans/j4yzjbt>

(9)【南ア】スイス・老舗時計メーカー、イタリア・ダミアーニ社へ戦略的売却

南アフリカの富豪・ヨハン・ルパート氏が率いるスイスのラグジュアリーグループ、リシュモンは、196年の歴史を誇るスイスの時計メーカー「ボーム&メルシエ」をイタリアのダミアーニ・グループへ売却した。これは、世界的な需要の鈍化に対応する中、世界のラグジュアリー業界全体で広がっている統合とポートフォリオ再編の潮流を反映している。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/africas-luxury-billionaire-johann-rupert-completes-strategic-sale-of-196-year-old/c6md23g>

(10)【モザンビーク】マプト港、同国初のポート・コミュニティ・システム・イニシアチブを開始

マプト港開発公社は、ポート・コミュニティ・システム(PCS)プロジェクトをインドのカレ・ロジスティクス・ソリューションズに発注した。これは、マプト港のデジタルトランスフォーメーションにおける重要なマイルストーンであり、南部アフリカにおける主要な貿易・物流ハブとなるというモザンビークの戦略を後押しするものである。

<https://www.ajot.com/news/port-of-maputo-launches-mozambiques-first-port-community-system-initiative-kale-selected-as-technology-partner>

(11)【アンゴラ】中国の華通集団がバラ・ド・ダンデ港ターミナルを建設・運営

アンゴラ、ベンゴ州のバラ・ド・ダンデ統合開発自由貿易地域における港湾ターミナルのサブコンセッションおよび建設に関して、総額9億米ドルで中国の華通集団によって投資契約が締結された。内容としては、仮署名ではあるものの、港湾ターミナル及びインフラのサブコンセッションを25年間として、資金は完全に民間により拠出するもの。プロジェクトは3フェーズで構成され、2030年までの完了を見込んでいる。同ターミナルは、最大8万トン級の船舶に対応し、物流の取扱高は年間100億米ドル超を見込む。また、この建設により、同地域で約2.1万人の雇用創出が可能になる。

<https://macaubusiness.com/angola-chinas-huatong-industry-to-build-run-barra-do-dande-port-terminal/>

(12)【マダガスカル】米国、マダガスカルにおけるレアアース・プロジェクトへ資金提供

米国国際開発金融公社(DFC)は、アンパシンダヴァ・レアアース・プロジェクトの開発に向け、パイロットプラントの運営や環境プログラムを含む約4.5万ドルの資金提供を約束した。西側諸国政府が中国主導のサプライチェーンに代わる選択肢の提供を模索する中、電気自動車や再生可能エネルギー向けの重要鉱物の供給におけるアフリカの役割はとても重要である。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/the-us-is-betting-on-madagascar-to-break-chinas-mineral-dominance/kfpl9gl>

■北部アフリカ

(13)【モロッコ】世界銀行、モロッコの300MW 揚水発電プロジェクトを支援

世界銀行は、モロッコ北部における300MW 級のイファサ揚水発電プロジェクトに対し、2. 65億米ドルの融資を承認。この融資パッケージは、国際復興開発銀行からの融資、クリーン・テクノロジー・ファンドからの譲許的資金、およびリバブル・プラネット・ファンドからの無償資金援助を組み合わせたものであり、同時にアフリカ開発銀行もこのプロジェクトに共同融資を行っている。実施主体はモロッコの国営電力・水道公社となる。

<https://renewablesnow.com/news/world-bank-backs-300-mw-pumped-storage-hydro-project-in-morocco-1297425/>

(14)【モロッコ】アフリカ開発銀行、アフリカ初のリチウム鉄リン酸塩電池開発に融資決定

アフリカ開発銀行は、ラバト・サレ・ケニトラ自由貿易地域における、正極からセルまでを一貫生産するリン酸鉄リチウム電池ギガファクトリーの開発資金として、Gotion Power Morocco 社への1億ユーロの融資を承認。同銀行はまた、「新アフリカ開発金融アーキテクチャ (NAFAD)」の下、この戦略的プロジェクトの実施を支援するため、金融パートナーから、さらに追加で最大1. 41億ユーロを調達予定。

<https://afdb.africa-newsroom.com/press/african-development-bank-approves-euro100-million-to-gotion-power-morocco-to-develop-africas-first-lithium-ion-phosphate-battery-gigafactory?lang=en>

(15)【エジプト】2026年末までに自動車の輸出開始へ

エジプトは、2026年末までに国内で製造・組立された自動車の輸出を開始することを目指している。この動きは、国内産業の競争力を高め、同国の外貨準備高を増やすための広範な戦略の一環である。報道によると、日産エジプトやゼネラルモーターズを含む3つの大手企業が、自動車の輸出開始に向けて産業省に申請書を提出した。3社目の社名は公式には発表されていない。各社は初期段階で1万台から3万台の自動車を輸出することを目指している。

<https://www.voiceofemirates.com/en/business/2026/07/13/egypt-is-preparing-to-export-cars-by-the-end-of-2026/>

(16)【エジプト】コカ・コーラ HBC、欧州・アフリカのデジタル事業推進拠点設置にエジプトを選定

スイスに本拠を置くコカ・コーラ HBC は、最新のグローバルソフトウェアエンジニアリングセンターの拠点設置にエジプトを選定した。これにより、エジプトは従来のアウトソーシングではなく、高付加価値の技術投資におけるアフリカの新興拠点の一つとして、その評価を高める。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/coca-cola-hbc-picks-egypt-to-power-digital-operations-across-europe-and-africa-in/kwdb1nc>

(17)【リビア】リビアの OLA エナジー、トタルエナジーズのエチオピア資産を買収

リビア・アフリカ・インベストメント・ポートフォリオ傘下のリビア OLA エナジー・グループは、フラ

ンスのトタルエナジーズと、同社がエチオピアに保有する資産を買収する契約を締結した。この動きにより、アフリカ市場におけるリビアの投資存在感が強化されるとともに、同グループのアフリカ大陸における燃料流通分野での事業展開が拡大することになる。今回の買収対象には、約120カ所のガソリンスタンド、1.3万立方メートルの燃料貯蔵ターミナル及び関連する運営事業・商業活動が含まれている。

<https://libyaobserver.ly/economy/libyas-ola-energy-acquires-totalenergies-assets-ethiopia>

(18)【チュニジア】世界銀行グループ、チュニジアの自動車産業に支援

世界銀行グループの民間投資部門である国際金融公社は、ドイツの自動車部品サプライヤーであるマルクアート社に対し、チュニジアでの生産拡大のため最大5.2千万ユーロを投資する準備を進めている。これにより、チュニジアがアフリカを代表する自動車部品製造拠点の一つとしての地位を強化することになる。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/world-banks-ifc-backs-tunisian-automotive-ambitions-with-dollar594-million-financing/6zpp7td>

(19)【アルジェリア】アフリカ開発銀行、アルジェリア鉄道プロジェクトに融資を承認

アフリカ開発銀行グループは、アルジェリア南部の495kmに及ぶラグワートーガルダイアーエル・メニア鉄道線の第2フェーズを支援するため、同国への約8.78億ドルの融資を承認した。同銀行の取締役会によって承認されたこの資金は、アルジェリア公共事業・基礎インフラ省が、アルジェとタマンラセットを結ぶトランスサハラ鉄道回廊の主要区間の開発を行うことを支援するものである。

<https://www.worldconstructionnetwork.com/news/afdb-approves-funding-algerian-railway/>

(20)【アルジェリア】ステランティス傘下のオペル、アルジェリア工場建設を正式発表

ステランティス傘下のオペルは、アルジェリアに自動車製造工場を建設する計画を正式に発表し、同国におけるエンジン生産に向け、覚書を締結した。この自動車工場の建設は、ドイツの首都ベルリンで開催された「ドイツ・アルジェリア経済フォーラム」で議論された、ドイツとアルジェリア間の広範な経済・産業協力の枠組みの中で確認されたものである。

<https://www.just-auto.com/news/opel-confirms-algeria-plant-agm/>